

事業所名 小規模多機能型居宅介護 遊楽

開催日時 2021年5月 運営推進会議参加予定の方に資料配布	
参加者	議 題
利用者 0名 利用者家族 1名 地域住民の代表者 2名 市高齢者福祉課職員 1名 地域包括支援センター職員 1名 事業所 3名	1. 利用者様の状況報告 2. 活動及び行事報告
会 議 録	
3月 登録者数 11名（女性11名） 平均介護度3.09 ・介護度3 82歳 女性 利用当初から認知症による不穏症状が強く、通所の拒否があったため、利用できずにいたが、服用薬の変更や新しく入居された方達との良い関係性ができたことにより、少人数・短時間で週1回の通所から始めて、現在は週5回の通所につなげられるようになる。	
・介護度1 93歳 女性 スタッフが訪室時に腰痛の訴えがあり、ナース（遊楽スタッフ）に報告する。転倒等の報告もなく、外傷もないが痛みの訴えが続いたため、ご家族に相談し、青山病院・整形外科を受診される。「第11胸椎圧迫骨折」と診断があり、コルセット作製（常時装着）の指示・痛み止めが処方される。 延べ通い人数・・・197人 一日通い平均・・・6.6人 延べ訪問人数・・・1179人 行事・・・ひな祭り・喫茶レク（サンIchiba合同） 作品制作・・・春の野菜（壁画）	
4月 登録者数 12名（女性12名） 平均介護度2.92 ・介護度1 82歳 女性 スタッフ訪問時に悪寒の症状がみられ、検温すると38度台の発熱をされていた。ナース（遊楽スタッフ）より解熱剤服用の指示。採血の結果、炎症反応値が高く、往診医より病院での治療の指示があったため、「陶生病院」に救急搬送し、入院となる。尿路感染症と診断。抗生剤点滴の治療後、症状が改善されたため、退院して、服薬での治療となる。	
・介護度1 89歳 女性 ご主人と二人暮らしで、ご長男のお嫁様が週2～3回お世話に通われていた。両変形性膝関節症により歩行が不安定。右手根管症候群の手術をするが、握力低下や痺れがあるため、生活にご主人の介助が必要な状態であった。ご主人の認知症が進行し、お二人での生活が困難になられ、ご家族から相談があり、利用開始となる。 延べ通い人数・・・179人 一日通い平均・・・5.9人 延べ訪問人数・・・1052人 行事・・・喫茶レク（サンIchiba合同） 作品制作・・・鯉のぼり（壁画・飾り付け）	
【ご意見・ご質問】 3月に比べ、4月の通い人数や訪問回数が減少していることについて 第11胸椎圧迫骨折により、主治医から通い中止の指示があった方や入院された方がみえたので、減少しました。訪問は、ケアマネの人事異動により見直しを行いました。訪問時間を長くし、複数のスタッフで利用者の見守りを行うことで、情報共有もできるようにしたため、回数が減少しました。	
<u>次回開催日は日程が決まり次第ご連絡致します</u>	